

四日市市では、これからのまちづくりの基本的な指針となる「都市計画マスタープラン」の策定を進めています。まちづくりは、市民と行政が一体となって進めることが大切です。これまでに懇談会や広聴会などで市民のみなさんの意見を伺ってきました。また、その意見・提言を反映するために「四日市市まちづくり市民円卓会議」を設け、みなさんの意見を評価・検討しています。

みなさんの意見・提言を 市民の目を通して検討

まちづくり市民円卓会議

市では、市民の意見や要望を大切に、市民主体のまちづくりを進めるため、市民で構成した「四日市市まちづくり市民円卓会議」を設けています。この円卓会議の構成は、二十歳代から五十歳代の十二人。まちづくりについて広く見識を持つ人、または市民活動に深い理解を示す人の中から市長が委嘱しています。

この会議は平成十一年二月六日に誕生し、これまで十七回開催されています。会議では、市が提案した「都市計画マスタープラン」の素案について、市民の立場から意見を出し合い、さらに昨年開催された「市民懇談会」や「市民公聴会」で寄せられた意見や提言を「自然・緑」「環境」「移動」「歴史・文化」などの論点に分け、検討してきました。



事例研究での
現地調査



委員による
活発な意見交換

住み続けたいくなる

まちに向け

「望ましい生活像」を提言